

■企業プロフィール

〒791-0213
愛媛県東温市牛湫661
TEL / 050-3595-3501
FAX / 020-4623-2998
設立 / 平成16年1月
資本金 / 300万円
事業内容 / ソフトウェアの開発・販売 (画像処理システム、物理シミュレーション、GUI、可視化(2D/3D)、スマートフォンアプリなど)、研究開発支援、その他
http://www.ecompute.co.jp
sales-sugoven@ecompute.co.jp

■社長プロフィール

井門 義男
愛媛大学名誉教授。
2013年に瑞宝中綬章受賞。
2017年イーコンピュート(株)の社長に就任。愛媛県出身。
座右の銘は「初心忘るべからず」
趣味はテニス、カラオケ。

スローガン

●「本当に必要な機能は何か」と「使いやすさ」を常に追求する
●クライアントの個性を最大限に引き出せるサービスを構築する

オリジナル製品・サービス

●高速・高精度の超音波伝搬シミュレーションソフトウェア「SWAN21」
●「対象物検出」「画像解析」などの画像処理ソフトウェアの開発・受託開発

高度情報化社会に必要な不可欠な
高速・高精度のシステム開発

画像処理技術を使った生体認証、検査装置関連、非破壊検査用超音波シミュレータ(SWAN21)、動物医療装置用の熱伝導シミュレータ(熱焼灼がん治療用)などの物理現象シミュレータ開発、3次元物体のレンダリングや弾塑性体のモデリングなど3D/VR関連の開発を得意としている。東京工業大学(東工大)発ベンチャー(第24号の称号を授与)と愛媛大学の研究成果に基づいた、理論を具象化した高度な技術は同社の強みであり、高度情報化社会の発展に必要な不可欠なマルチメディア情報技術の実用化を視野に入れている。

有限積分法と並列処理により
解析結果がリアルタイムに得られる

生体認証や検査装置用マーカー検出、動体検出などの画像処理や物理シミュレーションには、高速かつ高精度な処理能力が求められる。同社の開発した製品「SWAN21」は、溶接部の解析、欠陥構造物の伝搬解析、ガイド波の伝搬解析などに用いられる高速・

高精度の超音波伝搬シミュレーションソフトウェアだ。有限積分法(愛媛大学 中畑教授らが開発)を採用し、並列処理による超高速計算、モデルの作成から結果の可視化までをGUI操作で行うため作業が効率的で操作のための学習コストをほとんど必要とせず、伝搬状況のアニメーションによる可視化や受信波形のグラフ表示によりデータの解析を行うことができるのが特徴。今まで非破壊検査の現場で要していた時間と労力を大幅に削減することを可能にした。また医療分野において、病巣や発熱源の3Dモデルを構築し、高速計算により治療方針の迅速な立案に役立つ熱伝導シミュレーションソフトの開発も手がけている。

井門 義男

代表取締役社長
Yoshio Ido

並列処理による高速計算で、リアルタイムに結果を表示



イーコンピュート株式会社
用途や目的に応じて最適な
高速・高精度なシステムを提供

GGPUによる処理速度の向上と
安価な汎用ソフト開発を目指す

SWAN21は非破壊検査等の分野で幅広く活用することができ、非常に高速・高精度であることから将来性は極めて高いと考えられる。またシステムが高度化するに従って、画像処理のニーズはますます増えていくことも予測。今後はGGPUを活用し、さらなる高速化を目指し、専用ハードを必要としない安価なシステムを構築することで、顧客のコストを削減することに貢献していきたいと考えている。新しい技術を取り入れ、顧客の高度なニーズに迅速かつ柔軟にきめ細やかに対応できる企業を目指している。



画像処理なら何でもお任せください

eCompute

